

令和元年6月17日

各組合員の皆様へ

鹿児島木材産業協同組合
理事長 柴立 鉄彦

令和元年度企業力強化視察・研修の実施について(ご案内)

初夏の候、組合員の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素から当組合の運営等に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度の標記視察・研修について、下記のとおり伊勢・高山において実施する計画です。つきましては、目的等をご理解いただき、多数の皆様にご参加いただきますようお願いいたします。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、別紙申込書により7月31日(水)までにお申し込みください。

なお、参加人員は25人以内とし、お申込み先着順とさせていただきますのでご了承ください。

記

1 目的

- ① 伊勢神宮は、内宮（甲大神宮）と外宮（豊受大神宮）をはじめ125社から成る神宮ですが、125社のうち内宮・外宮と、両宮と関わりの深い14の別宮では20年に1度、隣の敷地にそのままの姿で社殿を建て替えてご神体を遷す式年遷宮が行われます。

社殿の建築様式は、唯一神明造と呼ばれ、日本古来の建築様式を伝え、ヒノキの素木を用い、切妻、平入の高床式の穀倉の形式から宮殿形式に発展したものです。

また、神宮は、宮域林と呼ばれる森林約5,500ヘクタールを有し、大正12年から将来の遷宮を見据えて、御造営用材の自給自足を目標として、「神宮森林経営計画」を策定し、200年生の檜の育成に取り組んでいます。今回は、日本古来の木造建築や森林の状況等を視察研修します。

- ② 飛騨高山の朝市は、江戸時代から、米市、桑市、花市などの市として発達し、明治の中頃から農家の奥さんたちによって野菜が並べられるようになり、朝市と呼ばれるようになりました。新鮮な野菜、果物、漬物、味噌、民芸品など、この地域の特産物等を活用した地域活性化策を視察します。

また、世界遺産としても有名な白川郷は、昔ながらの建築様式「合掌造り」の家々を今に残し、日本の農村の原風景が楽しめます。地元の歴史ある施設を活用した地域活性化策を視察研修します。

- ③ 参加者の交流と親睦を図ります。

2 研修期日

令和元年10月24日(木)から10月26日(土) 2泊3日

- 3 訪問先
別紙のとおり（今後変更される場合もあります。）
- 4 参加資格
組合員(家族及び従業員等を含む。)とします。
- 5 参加者数
1 組合員 2 人以内を原則とし、総数を 25 人以内とします。
お申込み先着順とし、総数に達した時点で締め切らせていただきます。
- 6 参加費用
参加者お一人につき、5 万円の負担金をお願いします。
また、ホテルの部屋割りを次のとおりとし、1 日目にツインを希望される場合は一人 5 千円の追加料金をお願いします。
- | | | | |
|--------|-------|------|------------------|
| ① 1 日目 | | | |
| 相部屋 | 4 部屋 | 13 名 | |
| ツイン | 6 部屋 | 12 名 | (追加料金 5,000 円/人) |
| ② 2 日目 | | | |
| ツイン | 6 部屋 | 12 名 | (追加料金なし) |
| シングル | 13 部屋 | 13 名 | |
- 7 申込期日
令和元年 7 月 31 日(水)までに、別紙申込書により F A X でお申し込み下さい。